

札幌医科大学後援会だより

H22.3.31

後援会の概要

● 札幌医科大学後援会は、在学生の父母を会員とし、その会費をもって事業運営を行い、大学の教育事業を後援し、その発展に協力することを目的としています。

後援会の事業内容

● 後援会では、学生向け講演会の開催や、大学の教育活動等への支援や学生の実習・海外研修に対する支援、福利厚生や課外活動（サークル活動等）への支援等の事業を行っています。

【平成21年度における主な事業実績】

新規事業

◆「学生向け講演会」の開催

平成20年度に札幌医科大学後援会として行った学生及び保護者へのアンケートからの要望を受け、人間性豊かな医療人を育成するための事業として、医療関係者に限定せず各分野で活躍する識者を招いて講演会を開催いたしました。

記念すべき、第1回目の「学生向け講演会」は、平成22年3月23日に元プロ野球選手の桑田真澄氏をお招きして、本学学生会との共催で開催いたしました。

講演会は、「試練は人を磨く」と題し、桑田氏自身の貴重な経験をとおして、試練に対しても前向きに向き合うことの大切さ、また、人格を磨くとはどういうことなのかなど、参加した学生達とのコミュニケーションを図りながらの講演となり、大変楽しく大盛況のうちに閉会することができました。

参加した多くの学生からは、「貴重な内容でとても面白かった。」、「人生の参考にしたい。」、「自分もプラス思考で考える生き方をしていきたい。」、「心ある医師になりたい。」などといった前向きな意見や感想が多く寄せられ、学生にとって、人間性豊かな医療人となるための基盤形成の場となりました。

今後も、この「学生向け講演会」は医療分野に限らず、医療人を目指す学生達の人間性の育成につながる事業として継続して開催してまいります。



右から今井学長・桑田真澄氏
・秋野後援会長・黒川学生会長



講演する桑田真澄氏

後援会活動に係る情報提供

◆ 各種の情報提供

後援会のHP（札幌医科大学のHPからリンク）において、活動状況について随時お知らせしています。

また、「後援会だより」を年1回発行しております。

大学の教育活動等への支援

◆ 学生用図書への寄贈

医学・保健医療学専門書や国家試験対策用図書を附属総合情報センター（図書館）に寄贈しました。

医学・保健医療学専門書	222冊	
国家試験対策図書	78冊	計 300冊

◆ 各種国家試験受験料等の助成

学生の国家試験（医師・看護師・保健師・理学療法士・作業療法士）受験料の2分の1を負担するとともに、国家試験対策模擬試験受験料への助成を行いました。

学生の実習・海外研修への支援

◆ 学生の実習に要する経費（交通費等）の助成

今年度より、札幌市外の実習における交通宿泊費への助成に加え、札幌市内の実習における交通費についても助成を行いました。

- ・「医学概論・医療総論」施設体験実習、基礎医学研究実習（医学部 1年～3年）
- ・地域・精神看護実習、理学療法学・作業療法学臨床実習（保健医療学部 1年～4年）
- ・離島地域医療実習、地域密着型チーム医療実習（両学部共通）

◆ 学生の海外研修参加経費の助成

- ・サウサンプトン大学（イギリス）臨床研修（医学部 1名）

学生の課外活動への支援

◆ 大学祭等の経費の助成

学生の自主的な課外活動である大学祭や体育祭、文化芸術祭などの行事に要する経費を助成しました。

（大学祭：6/19～21、体育祭：10/15～18、文化芸術祭：12/7～11）

◆ サークル活動の助成

38サークル（文化系14、体育系24）の活動に要する経費を助成しました。

本後援会は、保護者の皆様のご支援のもと活動を行っております。
今後とも本会へのご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。